令和７年度　さくら国際高等学校　学校評価表（自己評価）

学校教育目標	中・長期目標
生徒一人ひとりが、自由でのびのびと、自分に合ったスタイルの学習をして、「生きる力」をはぐくむともに、生徒、保護者、教師の広場である開かれた学校を目指す 生徒が自分自身の人生を力強く歩んで行けるようになるまで応援し続ける ①　生徒一人ひとりが主体となる教育 ②　好きなこと得意なことを伸ばす教育 ③　人とは違う「個性」を認め合う教育	①　生徒一人ひとりを大切にし、自ら考え学ぶ態度を育てる ②　生徒が将来の目標を持つための「きっかけ」を見つけられる環境づくり ③　地域（社会)、保護者、学校の連携を密にした、開かれた学校づくり ④　多様な生徒の実態に対応できる特色ある教育の充実
	本年度の重点目標
	①　笑顔で元気よく挨拶できる礼儀正しい人の育成 ②　生徒指導の徹底と生活習慣の確立により、自主性と責任感を重んじる態度を養う ③　生徒のみならず、保護者も交流・情報交換できる場としての開かれた学校づくり ④　目標を持たせ、自己実現を図る

領域	評価項目	具体的目標
教育課程表・学習指導	教科支援の充実	授業公開週間等を利用し、６月と９月に４日間の授業参観を行い、参観した保護者からの意見による授業改善に努める。 また、教科指導力向上のための研修に積極的に参加する。
		生徒による授業評価アンケートを年１回実施して、「わかる授業」を目指す。
	自学自習の促進	毎週水曜日に自学自習の時間を設けて、各自課題に取り組み、学びの意欲を高める。 長期休暇の際は、全教科課題を課して学びを継続できるようにする。
生徒指導	生活習慣の確立	自分に「自信」を持てるように生活習慣の徹底を図る。日常生活の中で、身だしなみの徹底を図る。
	問題行動未然防止	指導方針を明確にし、組織としての対応を心掛けることにより、問題行動を未然に防止する。

		積極的にコミュニケーションを図り、生徒理解を深める。
進路指導（キャリア教育）	進学指導	面接・小論文指導を充実させ、総合型選抜・学校推薦型選抜等における志望校合格率をあげる。
	就職指導	進路ガイダンス・キャリア講座・面接指導等を効果的に連動させ、学校紹介による就職内定率をあげる。また、就業後のミスマッチを防ぐため、相談体制を充実させる。
人権教育・同和教育	人権意識を高める	本校の「いじめの未然防止マニュアル」を運用し、状況把握や情報共有がスムーズにできる協力体制を作る。また、様々な教育活動を実施し、生徒の人権意識を高める。
		本校の「人権教育指導計画」を活用し、人権・同和教育を充実させる。
自己実現の支援	教育支援の充実	教育相談を通じて、生徒が抱えている問題や悩みの早期発見に努める。また、ソーシャルワーカーとの連携を強化して、生徒の心に寄り添う教育支援を行う。
	資格取得の推進	資格取得へ積極的に挑戦する意欲を持たせ、より高い合格率を目指す。
	各種大会参加への指導・支援	各種大会に出場したい生徒へ、大会に参加できるように指導・支援する。
	人間関係の構築	経験が少ない生徒が、人とのかかわりを通して自信を持てるようにする。
特色ある学校づくり	教育活動情報の公開	教育活動やその成果を積極的に開示するため、ホームページ・SNS において最新の情報を更新し提供する。
	地域との連携促進	異年齢間の関わりを重視し、地域の保育園や小学校・自治体と活動を行う。地域包括支援センターと連携し、認知症サポーター養成講座を開講する。
	大学等との連携促進	上田短期大学と連携し、「灯キャラバンプロジェクト」を実施する。
	国際教育活動の充実	上田市内の専門学校に通う留学生との交流活動を行う。ALT とのティームティーチングを充実させ、コミュニケーション力と国際理解力の向上に努める。
	保護者との連携	年２回の保護者会と三者面談を実施して、保護者との連携強化を図る。
保健・安全管理	安心・安全な教育環境の充実	自転車の安全な利用に関する知識と技能を習得し、交通事故を防止することを目的として、年１回の自転車安全講習を実施する。
		生徒が災害発生時に安全に避難できるように、知識と行動を身につけることを目的として、防災避難訓練（火事、地震それぞれ１回）を実施する。
		保健指導を実施し、自分の生活習慣の見直しを促す機会を目指す。
		環境衛生検査の実施し、安心安全に学習できる環境整備を図る。
		カウンセラーの充実を図り、学校ではカバーし難い多くの役割を担い、教育相談を円滑に進めることを目指す。